会議議事録（要旨）

1	会議名	令和6(2024)年度 第4回 柏崎市地域公共交通活性化協議会
2	開催日時	令和6(2024)年10月15日(火曜日) 午後3時00分～4時30分
3	開催場所	柏崎市市民プラザ 風の部屋1、2、3
4	出席者名	別紙のとおり
5	協議事項	議案第1号 地域公共交通ネットワークの再構築について 議案第2号 市街地循環バスのダイヤ等の見直しについて 議案第3号 柏崎市地域公共交通利便増進実施計画の策定と地域公共交通計画の一部改定について
6	報告事項	報告事項1 地域内交通及び鉄道の利用促進キャンペーンの実施について 報告事項2 AI新交通あいくるの回数券の導入について 報告事項3 AI新交通あいくるにおけるミライロIDの導入について
7	協議結果	全協議事項について承認いただいた
8	審議の内容	
	【協議事項】	議案第1号 地域公共交通ネットワークの再構築について
A	委員	各エリアの運行開始時期が異なる理由を聞かせてほしい。
事務局		運行開始までの準備作業には、多くの労力と時間が必要である。特に乗降ポイントの選定・設置作業は、地域と連携しながら、丁寧に進めていく必要がある。作業量を分散させ、限られた人員の中で効率良く準備を進めていくために、開始時期をずらしたところである。また、一度にまとまった数の運転手を確保することが難しいことも開始時期をずらす理由の一つである。
A	委員	郊外の各エリアから中央エリアのどこまで行けるのかが、分かりづらかった。地域への説明の際には、具体的に行けるポイントの例をいくつか記載するなどして対応してほしい。
事務局		分かりやすい資料となるよう工夫したい。また、実際にポイントを決定する際には、地域のニーズを踏まえて決定していきたい。
B	委員	郊外エリアのあいくるの運行時間は、中央エリアと同じ時間帯となるのか。
事務局		基本的には同じ時間をイメージしているが、回送時間が中央エリアより多く必要となるため、運行事業者と相談しながら決定していきたい。
	【協議事項】	議案第2号 市街地循環バスのダイヤ等の見直しについて
A	委員	中人という区分を取り入れて、高校生が大人より安い運賃で利用できるようにすることは良い考えだと思う。この区分の定期券を導

事務局	入することは予定しているか。
A 委員	現在、「ぐるパス」という定期券を導入しているが、利用者はほとんどいない状況である。多くの方が回数券を利用しているため、新たな定期券を導入する予定はない。
事務局	学生の利用を増やすには、インパクトのある取組が必要であると思う。他市の事例も参考にしながら引き続き検討してほしい。
事務局	学生を対象とした利用促進の取組として、路線バスの通学割引キャンペーンを実施してきたところである。このような取組などと組み合わせ、利用者数の増加を図っていきたい。
【協議事項】	議案第3号 柏崎市地域公共交通利便増進実施計画の策定と地域公共交通計画の一部改定について
A 委員	ここで諮るのは策定の可否だけで、内容は別途ということでのいか。
事務局	内容も含めて、お諮りしたいものである。
【協議事項】	議案全体について
C 委員	郊外エリアから中央エリアへ行ける範囲は、中央エリアの全域が対象ではなく、行ける範囲は限定されるという理解でよいか。
事務局	そのとおりである。効率的な運行を実現するためにも中央エリアの全域を対象とするものではない。また、他の交通モードと競合しないように運行範囲を考えていかななくてはならないと考えている。
C 委員	あいくるの運行エリアが増えることにより、市民の足が確保され、利便性が大きく向上することは大変重要なことである。我々も実現に向けて関わっていきたい。一方で、既存の交通への影響についても、しっかりと考えながら、それらと共存できる体制を目指して取り組んでほしい。
事務局	地域公共交通ネットワークの再構築は、各交通事業者からの協力なくしては実現できないと考えている。引き続き、きめ細かく意見交換・情報共有を重ねながら、丁寧に進めていきたい。
【報告事項】	報告事項1 地域内交通及び鉄道の利用促進キャンペーンの実施について 報告事項2 AI新交通あいくるの回数券の導入について 報告事項3 AI新交通あいくるにおけるミライロIDの導入について
	質疑・意見なし